



みんなの消防

火の点検 指さし確認 もういちど - 入間東部地区事務組合防火標語 -

✉shobo@irumatohbu119.jp

リチウムイオン電池からの出火にご用心

スマートフォン・モバイルバッテリー・加熱式タバコなど、多くの製品に使われているリチウムイオン電池は、充電中や機器の使用中に火を出す事例が増えています。

また、ごみ収集車やごみ処理施設での火災事故の原因にもなりますので、廃棄時は各自治体のルールを確認して処分しましょう。

火災を防ぐポイント

- 使用する前に取扱説明書を必ず確認する
- 製品に衝撃を与えたり、むやみに分解しない
- 高温になりやすい車内や直射日光のあたる場所に放置しない
- 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する
- 充電中に熱くなるなど異常がある場合は、使用をやめて製造業者や販売店に相談する



こんなときは要注意！

- ☐ リチウムイオン電池が膨らみ、変形している
- ☐ 充電中や使用中に、電池が異常に熱くなる
- ☐ 充電できないなどの不具合がある
- ☐ バッテリーの減りが早い



万が一火災が発生したときは

- 火花や煙が激しく噴出している場合は近寄らない
- 火花や煙の勢いが収まったら、消火器や大量の水で消火する
- 消火後、安全に配慮し、可能であれば水没させる
- 安全な場所から119番通報する

ヒートショックにご注意ください

■ 温かいお風呂 一歩間違えると命の危険を伴う事態に

暖かい部屋から寒い浴室へ移動するときなど、急激な温度変化により血圧が急変し、身体がダメージを受けることを「ヒートショック」といいます。ヒートショックは心臓に負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす可能性があります。

高齢者だけではなく、飲酒後の入浴や動画を見ながらの長風呂などが原因で若年層のヒートショックも発生しています。

めまいなどの症状が現れた場合は、その場にゆっくりしゃがんだり、横になって落ち着くまで安静にしてください。

予防のポイント

- 浴室を十分に暖めてから入浴する
- 浴槽から出るときは、手すりや浴槽のへりを使ってゆっくり立ち上がる
- 事故時の早期発見のため、周りに声をかけてから入浴する

3月7日は消防記念日

火災予防キャンペーンを実施

毎年3月1日～7日は春季全国火災予防運動を実施し、当消防本部では火災予防キャンペーンとして大型商業施設などで消防車の展示や火災予防啓発品の配布を行います。

空気が乾燥し火災が発生しやすい時期が続きます。火災による被害を減らすため、キャンペーンで防火に対する意識を高め、対策を行いましょ



住宅用火災警報器の取り付け支援

消防署では住宅用火災警報器の取り付け支援を実施しています。

家族の命や大切な財産を守るため、必ず設置しましょう。

☎ 消防本部予防課 ☎049-261-6007

防災館を知っていますか

子どもから大人まで防災について楽しみながら学べる施設が消防本部にあります。

災害はいつどこで起こるか分かりません。日ごろから万が一の場合に備え、いざというときには落ち着いた行動をとることが大切です。

ぜひ、防災館にお越しください。

開館時間 午前8時45分～午後5時

休館日 月曜(祝日を除く)、年末年始

